

令和4年6月29日

令和4年度 大阪府立三島高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 実施日 令和4年6月21日(火) 14:00~16:00

2 出席者

(1) 協議会委員 (アイウエオ順)

柏原 泰和 (川西地区青少年健全育成協議会会長)

楠 正吉 (三島高等学校同窓会会長)

中村 利久子 (高槻市立郡家小学校校長)

林 武文 (関西大学教授)

山本 富美恵 (三島高等学校PTA会長)

(2) 学校側

山下克弘校長、山崎一郎教頭、前田隆志首席、一馬愛首席、井上直也教諭、古謝伸二事務長

3 議題

6時間目の授業を見学した後、校長室にて以下の議題について審議を行った。

(1) 学校経営計画について

(2) 学校の状況について

4 委員からの指摘提言

(1) 授業見学について

- ・授業を見せていただく度に工夫されていて、どうしたら生徒を引きつけられるかを先生方は考えておられる。勉強させていただいている。
- ・生徒も先生方も熱心。意見交換の場面は今回少なかったが、クイズなどもあった。社会の授業はモデルがあるのかもしれないが、準備作業は大変だと思う。
- ・ホワイトボードに変わり、パソコンなどを工夫して使われている授業が年々増えてきている。資料の作成なども工夫があり、見ていて楽しめた。有意義な時間だった。
- ・子どもの興味を引くような授業があり、金融の授業でリスクを考えたり、自分たちの時代とはかなり授業が変化している。人数が多いクラスは端の生徒が見えにくそうだった。
- ・金融の授業では、銀行ならどうするか？自分のお金ならどうするか？比較すると子どもたちが考え出すところがある。設備・機器が恵まれている。
- ・情報機器を使いすぎると情報だけ与える一方通行の授業になりがちだが、板書やプリントと併用したり生徒に答えさせたりと工夫されていた。少人数クラスがあったが、有効だと思う。通常授業だとできる人はつまらないが、できない人はわからないとなりがちだが、英語はレベル別クラスだと理解しやすい。できれば3段階に分けるとさらによい。

(2) 学校経営計画について

- ・部活動指導が先生方のストレスと関連しているかもしれない。現在外部の指導者の活用状況はどうか。地域にも関わってくださる方がいるかもしれない。OBの方にも高校時代きてもらったりしたこともあった。不登校は増加していきだろう。対策を講じなければいけない。大学でも同様に増えている。対面が苦手な

生徒は自粛中オンライン授業で単位認定されたが、コロナと関係なくコミュニケーションが苦手な生徒は増えている。ケアが必要だと思う。

- ・部活動指導は課題となっている。指導員導入で、選択肢が増えるとよい。学校現場も難しくなっており、OBだからといって必ずしもうまくいくとは限らない。子どもの実態などレクチャーを受けられたら、そのような情報連携があれば安心して入っていけるのかもしれない。スマホネット利用等の人権教育も大事だと思う。子どもを守るという意味でも取り組みが必要だし、何かお手伝いできないか。命に係わる問題でもあるので、孤立している子どもが増えている状況もあるようだから、ぜひ取り組んでほしい。
- ・国公立受験については、進路相談などきめ細かいアドバイスをされているので、ぜひ続けてほしい。以前より学校の雰囲気が全体的に明るくなり、職員室にも入りやすくなった。不登校は気になるところ。カウンセリングの活用を続けてもらいたい。
- ・支援が必要なお子さんがかなり増えてきている。根本的な原因がどこにあるのかを検証する必要もある。春休み中にダンス部・弦楽部、軽音楽部などが感染対策を工夫しながら練習を頑張っている姿が見られた。
- ・小学生も打たれ弱くなっている。困ったことを困ったと伝えられない子どもが増えている。施設の改善とカウンセリングマインドを養って教育相談に携わることで、少しでも三島に来てよかったと思えるような生徒が増えたらと思う。クラブ交流では、明るく丁寧に子どもに関わり、指導してくれた。これは三島の良さなので、引き続きお願いしたい。
- ・ルール順守についてだが、交通マナーの意識を向上してほしい。セーフティボランティアさんも自転車の運転が危なくて事故につながらないかと非常に心配されている。
- ・数値目標は維持して当たり前なところがあり、大変かと思うが引き続きご努力を。
- ・朝、生徒が自分たちで立ち番をするのはどうか。親や先生などから言われても変わらないが、自分事として取り組む方がより効果があるのではないか。
- ・キャリア教育については、様々な業界の第一線で活躍されている卒業生がいるので、幅広く仕事について知れると思う。活用については長期的スパンでもよいので検討を。
- ・大学としてもできることがあれば協力したい。ぜひお声がけを。大学側への要望を教えてほしい。
- ・キャリア教育が大切。大学に行くことそのものが目的ではなく、将来を見据えた上での大学選びを。
- ・1年時に興味のある業種の方の講義を受けられたとのこと。今後も続けてほしい。

(3) 学校の状況について

- ・若干名の進路変更生徒もいるが、次の進路がきちんと見つかっているようで、安心した。
- ・PTA総会もコロナの影響で3年間開けていない。早く対面で出来るようになってほしい。
- ・進路で悩んでいる生徒に担任が親身に相談に乗ってくださったと聞いている。
- ・生徒の教育相談(スクールカウンセラー)の利用が多いのは良いことだ。ヘルプが必要な時に自分から助けを求められることはいいこと。スクールカウンセラーだけでなく先生方も生徒からの相談を受けていると思う。学校全体での取り組みが大事。
- ・養護教諭からの声かけで、2年時にカウンセリングを受けた生徒が持ち直した。学校全体でのフォローをいただいている。
- ・入学時のアンケートで、本校の魅力について特になしを選んだ生徒がいるが、理由は何なのか。もし分析できれば、学校の魅力を考える上で参考になるのではないか。